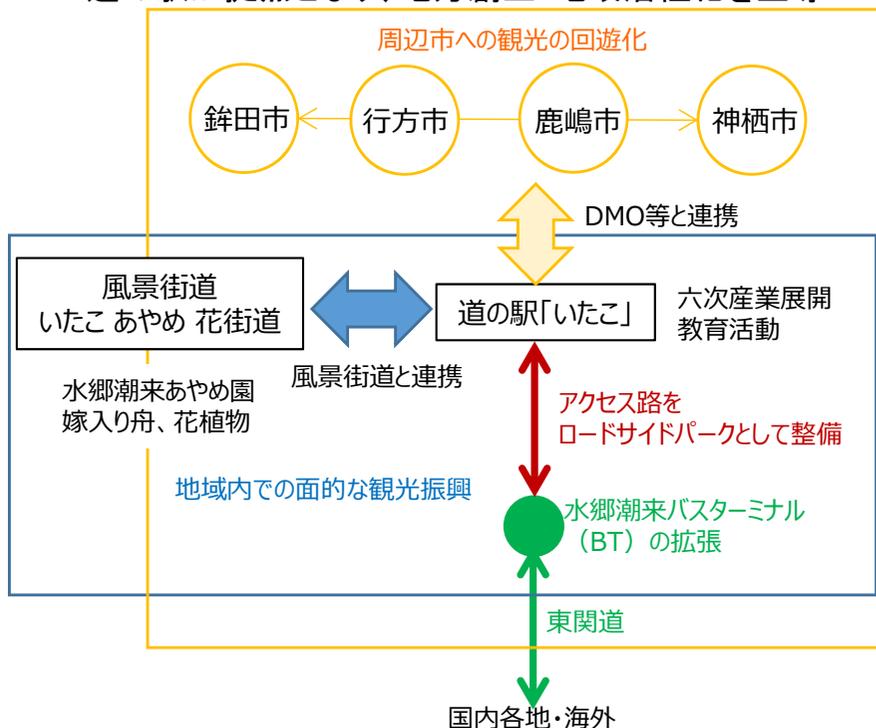


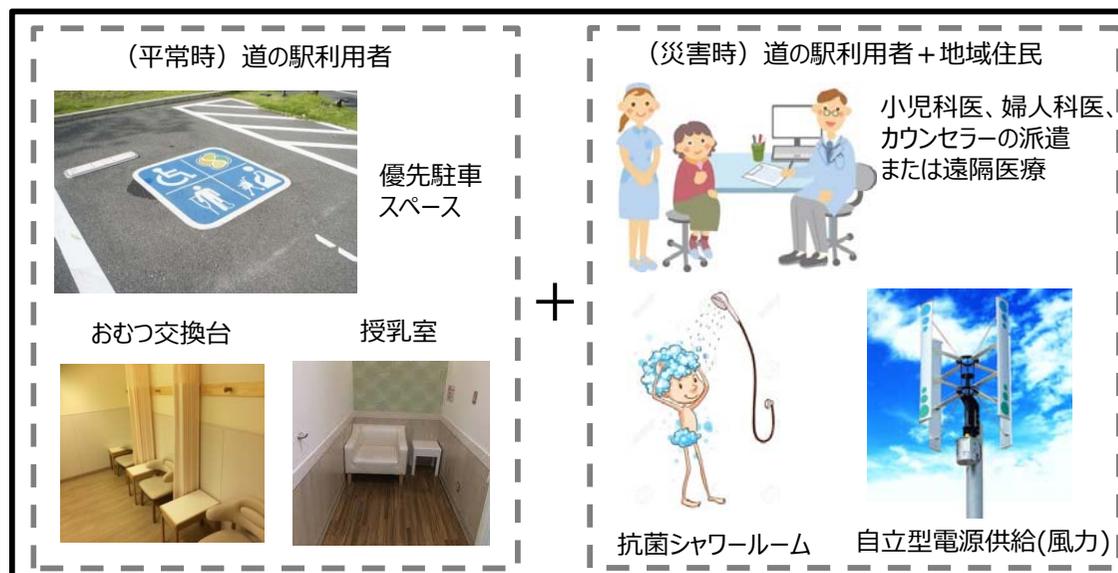
- DMOと連携しスポーツツーリズムの取組を通じ、道の駅を拠点とした周辺市への観光の周遊化を図り、インバウンド観光の効果を広域的に活性化させる
- 風景街道の利用拠点と道の駅を双方向で誘導させ、地域内でも面的に観光振興を行う
- 平常時はもとより、災害時においても、子育て世代の安心と安全を応援する

道の駅が拠点となり、地方創生・地域活性化を主導



駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
いたこ	茨城県	潮来市	県道101号	既設	平成14年	一体型

平常時も災害時も子育て世代を支援



<提案の先駆性・ポイント>

- DMOと連携した次世代観光拠点の形成
- 風景街道と連携し、地域内で面的な観光振興を実施
- 観光の拠点となる道の駅において、六次産業化による加工品を展開し、観光・産業振興による雇用を創出
- 今後を担う地元の若者へ地域のアイデンティティを醸成させる
- 優先駐車スペースや授乳室・おむつ交換台で子育て世代を支援
災害時は遠隔医療も受けられる防災拠点として抗菌施設を整備

<実施内容>

- 近隣市と一体となった観光プランニングの実績を有するDMOと連携し、BTを活かし道の駅を拠点とした観光の周遊化を実施
- 道の駅運営会社が風景街道の水辺拠点を管理運営し、道の駅と地域観光資源を結びつけ、市内観光事業をリードさせる
- 初等教育や中等教育にて、風景街道・道の駅と歴史文化を郷土資産として認識させる教育を継続して実施する
- マザーズキャビンを整備し、子育て世代の安全安心を応援する